

エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2024 パブリックコメント募集

日本助産学会ガイドライン委員会では、4年ぶりの改訂となる、エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2024の作成を行ってきました。本ガイドラインの活用の目的は、妊娠期・分娩期・産褥期に助産師が実践する医療ケアに必要な最新のエビデンスを集めた本ガイドラインを参考にしてもらい、特定の臨床の状況において、適切な判断ができるように助産師と女性が協働して意思決定を行えるよう支援することとしております。

ガイドラインの内容は、各時期に分けてCQ（クリニカルクエスション）とBQ（バックグラウンドクエスション）で構成しています。妊娠期はCQ 4項目とBQ 14項目、分娩期はCQ 11項目とBQ 17項目、産褥期はBQ 5項目を作成しました。

ガイドライン 2024の大きな改訂点は、2020年ガイドライン（前版）のCQを参考にして、重要臨床課題からCQの設定、推奨作成のためのシステマティックレビューのエビデンスの収集、GRADEを用いたエビデンスの評価・統合したことです。現在は、ガイドライン草案が完成し、外部評価、パブリックコメント募集の段階となります。

つきましては、会員の皆様からガイドライン草案についてのご意見を伺う機会を設けましたので、奮ってご意見をお寄せ下さいますよう、何卒どうぞよろしく御願い申し上げます。

ガイドラインおよびパブリックコメントの応募方法につきましては、下記をご覧ください。

【募集案内】

ご意見やご助言を、期日までに、下記「パブリックコメント募集 回答フォーム」に入力いただきお寄せください。

【エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2024 パブリックコメント募集 回答フォーム URL】

<https://forms.gle/sJw2jgwCsNA6JDM8>

【募集期間】

受付期間：2024年8月20日～2024年9月14日必着